

# ガイド・レーニ 《ロザリオの聖母》に関する一考察

《キーワード》十五玄義 マドンナ・ディ・サン・ルカ至聖所聖堂 ボローニャ

宇 埜 直 子

はじめに

ガイド・レーニが描いた《ロザリオの聖母》の祭壇画は現在でもボローニャ近郊モンテ・デッラ・グアルディアのマドンナ・ディ・サン・ルカ至聖所聖堂にある(図1)<sup>①</sup>。この聖堂には聖ルカが描いたと言い伝えられている聖母子のイコンがあり、このイコンが一四三三年に大雨を晴らすという奇跡を起こしてからイコンとサン・ルカ聖堂はボローニャの人々の絶大なる崇拜を集めていた<sup>②</sup>。レーニの伝記を書いたマルヴァジアによると、このイコンの両脇に設置するための二点の小さい絵をレーニが制作すると、サン・ルカ聖堂を管轄していたドメニコ会の修道女たちがこれらの作品を非常に気に入り、聖堂の第一礼拝堂の祭壇画として《ロザリオの聖母》をレーニに注文したという<sup>③</sup>。

ここには、聖堂内に雲に乗って顕現した聖母子からロザリオの数珠を授けられている聖ドミニクスが描かれている。聖ドミニクスの



(図1)  
ガイド・レーニ  
《ロザリオの聖母》  
カンヴァスに油彩、  
260 × 220cm、  
ボローニャ、モンテ・  
デッラ・グアルディア、  
マドンナ・ディ・サン・  
ルカ至聖所聖堂

